

令和5年度 埼玉県英語指導方法改善事業 及び

令和5年度 三郷市教育委員会委嘱「教育課題推進研究」 研究発表会

# 研究紀要

研究主題 「見える学力の育成」  
～ALTの参画とタブレットの効果的な活用を通して～



令和6年2月5日(月)  
三郷市立南中学校





## あいさつ

三郷市教育委員会教育長

大塚 正樹

変化の激しい、予測困難な時代をたくましく生き抜く資質・能力を身に付けるためには、児童・生徒が、「自ら課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出す」ことができる授業を実現することが重要です。

本市におきましては、2年目を迎えた「三郷市第3期学力向上推進3カ年計画」において、学力向上を最重要課題とし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を中心に位置づけています。「令和の日本型学校教育の推進」をスローガンに、「指導の個別化」「学習の個性化」を通じた「個別最適な学び」や、一人一人のよい点や可能性を生かす「協働的な学び」について、市内全校で授業研究を通じた実践的な研修が進められていることに感謝申し上げます。

さて、南中学校におかれましては、令和5年度埼玉県英語指導方法改善事業並びに三郷市教育委員会教育課題推進研究委嘱校として、「見える学力の育成 ～ALTの参画とタブレットの効果的な活用を目指して～」を研究主題に掲げ、英語科を中心とした授業改善に取り組んでこられました。デジタル教科書や、協働学習支援ツールを効果的に活用した指導の実践等、ICTに係る研修に力を入れております。それにより、個別最適な学びを実現するとともに、生徒が英語を使用する必要性のある場面設定がされた言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する授業を展開していただいているところです。市内各校におかれましては、本校の実践を参考に自校の取組を改めて見つめ直し、今後の教育活動に生かしていただきますようお願いいたします。

結びに、小堺正之校長先生をはじめ、南中学校の先生方の熱意溢れる取組に敬意を表するとともに、今後の一層の授業改善を期待し、あいさつといたします。

## あいさつ



三郷市立南中学校  
校長 小塚 正之

本校では、令和5年度「三郷の学校経営」として示された「令和の日本型学校教育の推進」の柱の一つである個別最適な学び・協働的な学びを意識し、ICTの活用も推進しながら「主体的・対話的で深い学び」を目指して「学ぶ力を伸ばす！」を合言葉に、生徒の意欲を引き出し、向上を実感できる授業を目指しております。

そのような中、埼玉県教育委員会から「埼玉県英語指導方法改善事業」の研修協力校としての指定を、また、三郷市教育委員会から「教育課題推進研究」の委嘱をいただき、「見える学力の育成」～ALTの参画とタブレットの効果的な活用を通して～を研究主題とし、英語科の授業の中で「話すこと・聞くこと」の楽しさを感じ、英語を使って積極的にコミュニケーションを図り、それらの英文を書いて表現することができる生徒の育成を目指してまいりました。英語科の授業の中での取組を推進した成果が少しずつ表れてきた感もありますが、まだまだ多くの課題が残っております。特に、デジタル教科書の活用やタブレットの活用については、英語科にとどめることなく、各教科等で活用の推進を図っていけるよう取り組んで参ります。

本日公開させていただいた授業や発表させていただいた研究内容等について、御参会いただきました皆様からの貴重な御意見・御指導を今後の研究に生かして参りたいと存じます。

結びに、本研究を推進する中で懇切丁寧な御指導を賜りました埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 杉崎 亮 様、埼玉県教育局東部教育事務所学力向上推進担当指導主事 柳本 盛 様、三郷市教育委員会教育長 大塚 正樹 様をはじめとする三郷市教育委員会の先生方、本研究に関わっていただいた多くの皆様に心から感謝申し上げ、あいさつとさせていただきます。

# 研究概要

## 1. 研究主題

### 見える学力の育成

～ALTの参画とタブレットの効果的な活用を通して～

## 2. 目指す生徒像

英語の授業の中で、「話すこと・聞くこと」の楽しさを感じ、英語を使って積極的にコミュニケーションを図り、それらの英文を書いて表現することができる生徒

## 3. 主題設定の理由

本校ではこれまで学校経営基本方針で示された最重点「学ぶ力を伸ばす」のもと、「学ぶ力」の育成を研究主題として取り組んできた。これは、生徒が自ら主体的に学ぶ態度や学ぶ力を育成することにより、見える学力の伸長へとつなげることを目指して取り組んできたものである。今年度はこれまでの研究を基盤としつつ、さらに見える学力においても明確に伸長が示されることを目指して、実践の研究を進めている。本校生徒は、授業に取り組む姿勢は概ね良くできている。

(中略)

この現状を解決するため、デジタル教科書や三郷市の全小中学校に導入されたミライシードを積極的に活用し、生徒たち自身が創造的な思考をする英語指導を目指し、学力の向上につなげたい。さらに、タブレット学習の推進も図り、Society5.0にむけた新たな英語教育も目指していきたいと考え、本研究主題を設定した。

## 4. 研究の概要

### (1) 言語活動を多く取り入れる工夫

話すこと、聞くこと、の機会を増やし、英語でコミュニケーションする楽しさや表現力の向上を感じさせるため、

ア 授業の開始時に必ず教師と生徒の会話活動を行う。

イ 日常会話に生かすことができる会話活動となるようにする。

ウ 予定したALTとの会話活動を念頭に置き、その練習も兼ねた会話活動とする。

### (2) 英語科共通の指導方法の確立

デジタル教科書やタブレットの活用がスムーズに行えるようになり、

生徒たちが積極的に活用できるようにするため、

ア 帯活動としてミライシード内のドリルパークでドリル活動を行う。

イ デジタル教科書で、本文の動画の視聴やフラッシュカードによる単語練習をする。

また、デジタル教科書を用いて、教科書本文のリスニングを各自のペースで取り組ませる。

ウ 授業の振り返りの時間に、ミライシード内のオクリンクで英作文を行い、

データに残すことで振り返りやすく、苦手分野を見つけやすくする。

(ミライシード内のオクリンクには生徒の作成物の提出機能もあるため、

生徒が書いた英文や、上記の録音した音声教師にデータ提出することができる。)

### (3) 音読の個人視聴・録音の活用

ヘッドセットを使って話し、録音したものを個人視聴することで

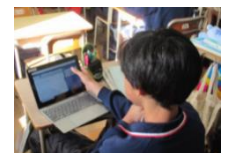
「話すこと」、「聞くこと」の力を伸ばすため、

ア これまでは廊下に一人ずつ呼んで行っていたスピーキングの確認をヘッドセットでそれぞれの生徒が録音する。

(録音するには、タブレットの「ボイスレコーダー」というアプリや、ミライシード内のオクリンク内に録音機能があるのでそれで、教科書本文の音読をさせ、録音して教師に提出させている。)

イ ヘッドセットを活用し、各自のペースで繰り返し音を聞いたり、話したりする活動を行う。

ウ パフォーマンステストを行う際、ヘッドセットを活用して行うことで、各自、同じテストを複数回行い、最も良いものを提出することができる。



(4) ALTの授業への参画

ALTとのスモールトークを活用し、「聞くこと」の力を向上させるため、

- ア 時事問題や生徒が関心を持つタイムリーな話題、あるいはALTのローカルな内容をスモールトークの内容とする。
- イ 冬休みの思い出についてALTに話をしてもらい、リスニングの練習とする。
- ウ ALTと会話を行い、聞く力(概要を捉えること)の向上に取り組み、質問を行うことで、話を聞く意欲を高める。
- エ 話す活動では、自分からALTに話すことができるようにするために時間を作る。オ 書く活動では、書けていない生徒には、内容を引き出すためにヒントや例文を示してもらおう。また、書けている生徒には、文章の確認をしてもらい、より良い表現になるためのアドバイスをもらおう。

(5) 学習活動や板書計画の質の向上

英語科の授業における学習活動や板書計画の質を向上させるため、

- ア 自身の授業がない時間に、他の英語科の授業を相互に参観し、学習活動内容や板書についての情報交換、意見交換を行う。
- イ 学習活動や板書内容についても意識して、それぞれの活動のねらいについても触れながら協議を行う。

(6) 英語の学習に関する小中連携

英語科に関する小学校、中学校それぞれの様子を相互に知り、小中学校の英語の授業に関する活動が滑らかに接続されるようにするため、

- ア 小学校の英語に関する校内研修会に参加し、授業の展開の詳細や「話すこと」、「聞くこと」に関する活動の詳細を知る。
- イ 小学校の英語の教科書を確認しながら、「話すこと」、「聞くこと」に関する活動をどのような場面でどのように行っているのかを知る。
- ウ 小学校教員にも中学校英語の授業を参観してもらい、その後の協議において今後の英語科の授業で意識して取り組むことを確認する。



5. 成果と課題

(1) 成果

- ア 英語を聴く力、自分の考えを話す力を養う機会を増やすことができた。
- イ スモールトーク等の会話活動において、必要性を感じながら話す生徒が増えている。また、休み時間等にもALTとの英語での会話が増えてきた。
- ウ ミライシード内のドリルパークでのドリル活動では、何回も繰り返し取り組むことができ、定着度が上がっている。また、データとしても残り、振り返りにより苦手分野も確認することができ、自主的に取り組む生徒が増えた。さらに、自分のレベルに合わせて問題演習に取り組むことができ、問題を解くことでアプリ内でポイントもたまり、ゲーム感覚で取り組むこともできるため、集中して学習する環境をつくることができた。
- エ 英作文ではデータで提出したものを全体で共有することができ、生徒の名前も公表するか匿名にするかを教員が事前に選ぶことができるため、生徒たちは安心して取り組むことができた。よくある間違いをグルーピングして提示することができるため、文法のポイントの確認を効率的に行うことができた。
- オ デジタル教科書の活用により単語の学習を効率的に行うことができ、教科書本文の内容もイメージしやすくなっている。また、音読することで、音の違いや音のつながりを意識して、聞き取りにくい箇所は自分で繰り返し聞くことができるため、能動的にリスニング活動を行うことができた。
- カ ヘッドセットの活用により、自身の音声を繰り返し確認することができ、話すことの練習が効率的にできるようになった。そのため、これまで以上に英語で話す力の向上に取り組むことができた。また、リスニングでは個人のペースで取り組めるようになった。
- キ ALTの話のリスニングでは、身近な話題とすることで、聴き取れなかった部分もある程度想像しながら理解できる部分もあるため、聴こうとする意識が高まり、聞くことに関する力を養う機会とすることができた。また、ALTを活用したことで、会話を行うことや質問することに自主的に活動することができる生徒が多くなった。
- ク 英語科相互の授業参観により、タブレットの活用方法を共有することができ、活用頻度が高まった。そのため、活用に慣れ始めてきている。また、授業のねらいに基づく活動内容や板書計画の質を向上させる機会とすることができた。
- ケ タブレット学習を取り入れたことで、意欲的に取り組む生徒も増え、課題の進捗具合や提出物の確認

も容易になり、フィードバックを効率的に行うことができた。

コ 小中連携に関する取組では、小学校の授業を参観したり、協議したりすることで中学校の授業を見直すことができ、問題演習の時間の確保ができた。また、小学校でのスピーキングの取組を知ることで、中学校でのスピーキングの機会を増やし、質を高めることができた。

## (2) 課題

ア スピーキングの練習でも文法的に正しい表現で活動できるよう、文法に関する生徒の理解を高める。また、繰り返し練習できるよう工夫したい。

イ タブレットの活用に関しては、英語科以外の教科とも共通したルールや使用法（蓄積したデータの有効活用などの効果的な活用に関する研修等による）に関する指導の統一を図りたい。また、タブレットの操作等についても個別指導の必要な生徒への対応について有効な方法を考えたい。

ウ ヘッドセットの購入に関する予算の確保を、その品質（耐久性等）も考えながら検討したい。また、机間指導による個々のその時々々の生徒の状況はみられるが、全体的な様子を把握するための方策を検討したい。

エ ALTの授業への参画のために、打ち合わせの時間の確保を工夫し、ALTの質問に答えられる生徒が増えるような工夫をしたい。それにより、少しでも自信をもって答えられる生徒を増やし、積極的な英語による会話に結び付けたい。

オ 英語科相互の授業参観では、時間割を工夫し、一人の授業を残りの全員が参観し、協議できるような時間を確保したい。また、授業に使う資料等を共有し、活動内容や板書の質の向上に努めたい。

カ 英語の授業に関する小中連携では、一つの小学校に止まらず、中学校区内のすべての小学校と連携したい。



## 御指導いただいた先生方

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事	杉崎 亮 様
埼玉県教育局東部教育事務所学力向上推進担当指導主事	柳本 盛 様
三郷市教育委員会教育長	大塚 正樹 様
三郷市教育委員会学校教育部長	菅原 成之 様
三郷市教育委員会学校教育部副部長	田口 貴子 様
三郷市教育委員会学校教育部参事兼指導課長	西村 美紀 様
三郷市教育委員会学校教育部指導課指導係長	矢野めぐみ 様
三郷市教育委員会学校教育部指導課主任指導主事	中山 達也 様
三郷市教育委員会学校教育部指導課指導主事	加藤 雄大 様
三郷市教育委員会学校教育部指導課指導主事	長嶋 真平 様
三郷市教育委員会学校教育部指導課指導主事	杉山 雄哉 様
三郷市教育委員会学校教育部指導課指導主事	柏 ひとみ 様
三郷市教育委員会学校教育部指導課指導主事	桑島 敦 様
三郷市教育委員会学校教育部指導課指導主事	赤城 雅史 様

## 研究に携わった教職員

校長 小堀 正之				
教頭 折橋 雅彦				
教諭 岸 雅之	田谷 満久	卜部 力也	松尾 強	
森田 みちる	森山 健太	田島 信英	今 友美	松尾 健太
遠山 亮	岩田 彦太郎	鋤柄 久美子	平井 真透	古谷 唯
大熊 りお	金井 宏伸	清黒 文人	田中 慶彦	佐藤 安希
涌井 茂幸	恩田 康之介	磯野 敦	品田 真洋	西 春菜子
花井 真穂	松尾 隆継	和田 美恵子	黒澤 駿弥	
養護教諭 佐藤 智美				
事務主事 伏見 拓人				
スクールカウンセラー 堀江 美香				
さわやか相談員 渡部 紀子				
一般事務 佐々木 真由美	上田 朋美			
学校校務員 宮田 希代子	大菅 則明			
図書館司書 西 麻希				
ALT Roel Aldana				